

(S2018-05 用)

研究課題名	胞状奇胎の掻爬回数と続発症頻度に関する調査研究について
研究期間	調査期間：西暦 2018 年 7 月 5 日 ～ 西暦 2019 年 6 月 30 日 調査対象：2014 年 1 月 1 日から 2016 年 12 月 31 日までの 3 年間に胞状奇胎除去術を施行された患者さん
研究の目的と意義	日本産科婦人科学会専門委員会公募小委員会（班研究）として行われ、本邦の多施設における胞状奇胎症例の掻爬回数と続発症の頻度を後方視的に解析することを目的とします。最終的には、本研究での解析結果を踏まえ、再掻爬の要否と選別につき提言可能となる指針を作成することを目指しています。
研究方法	全国で 2014 年 1 月 1 日から 2016 年 12 月 31 日までの 3 年間に胞状奇胎除去術を施行された患者さんのカルテより、再掻爬の有無、続発症を中心とした情報を収集します。取得した情報を日本産科婦人科学会「胞状奇胎の掻爬回数と続発症頻度に関する調査小委員会」へ送付し、詳しい解析を行って胞状奇胎除去術後の再掻爬の有用性を検討いたします。 目標症例数は 2,000 例で、当施設を含む全国の基幹病院（約 400 施設）が研究に参加します。
個人情報の保護、研究参加の拒否について	利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。 また、この研究にご自身の情報を使用されることに同意されない方は、担当医師へご連絡ください。解析対象から除外させていただきます。
結果の公表	研究で得られた結果は、学会、医学専門誌への発表を予定していますが、その際にも、患者さんの名前など対象者を特定できる情報は含まれません（公表する結果は統計的な処理を行ったものだけです）。
問合せ先	京都第二赤十字病院 産婦人科 （職名・氏名）部長・藤田 宏行 〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355-5 TEL：075-231-5171（代） FAX：075-256-3451（代）